

シテ置クノガ適當デアルト考ヘマス

○横山(勝)委員 サウスルト重テ御尋ネ致シマスガ、本法成立ノ上デ、本法ノ解釋上、裁判所デナスベキ接見禁止、書類授受等ノ禁止ノ命令ハ、檢事ニ及バヌト云フコトデアリマスガ、併シ檢事ト被告人ト接見スルコトハ、此解釋上ヨリモ起ルベキモノデ、斯様ナ禁止ノ裁判ヲシテ居ルニモ拘ラズ、檢事ガ被告人ト他人トノ接見ヲ許スコトガ出來ルカドウカト云フコトヲ更ニ承テ置キタイ

○林政府委員 ソレハ斷ジテ出來ナイノデアリマス

○横山(勝)委員 然ラバ書類ノ場合モ、先刻ノ御答ニ依テ、檢事ハサウ云フコトヲスルコトノ權能ガ無イト云フ意味ニ了解シテ宜シノデアリマスガ

○林政府委員 無論サウト考ヘマス、第三者ト被告人トノ間ノ交通ヲ檢事ガ媒介シテ取扱フト云フコトハ斷ジテ許サナイ精神デアリマス

○横山(勝)委員 ソレカラ第二項デアリマスガ、裁判所ガ檢閱ヲスルコトガ出來ナイカラ、檢事ガ代テ之ヲ爲スト云フノハ、一警差支ナイヤウデアリマスガ、斯ウ云フ場合ニ裁判所ガ出來ナイ場合ニハ、始終檢事ガ——司法檢察官ガ代テヤルト云フ方法ヲ設ケテ置クト、所謂獨立ノ裁判官ノ爲テ手續ヲ認メタル制度ト、之ニ獨立シタル檢事制度ヲ置イタ趣旨ガ、到ル所ニ刻々刻々打壞サレル、檢事ノ職權ヲ廣クスルヤウナ意味ニモ解釋出來ルト思フ、其立法ノ根據ニ付テ、私ハ甚ダ疑ヲ抱クノデアリマス、一體裁判所ガ檢閱スルコトガ出來ヌト云フノ、ドウ云フ必要上檢事ガ之ヲ檢閱スルノデアリマスガ、裁判所ハ合議裁判ノ場合ニハ、數人ノ裁判官ガ居リマスシ、豫審判事、區裁判所ノ場合ニ於テモ、他ノ判事ガ代テスルコトガ出來ル、又裁判所デ檢閱スルコトガ出來ヌト云フテモ、永久ニ障害ノアルト云フコトモアリマス、一旦裁判所ニ移シタ以上ハ、成ベク裁判所ノ處分ニ一任シテ、檢事ハ成ベク原告官トシテ、被告ト對等ノ位置ニ立ツト云フ意味ニ於テ立法シテ載キタイト云フノガ吾々ノ精神デアリマス、ドウモ差支ヘルカラ、直グ檢事ガ代テヤルト云フト、裁判官ト檢事トガ、何時デモ同一ノ機關デアルト云フヤウナ疑ヲ持タセルコトニナル、其結果ハ檢事ガ法廷ニ於テ爲ス辯論モ權威ヲ失ヒ、裁判所ノ裁判モ之ガ爲ニ威信ヲ失墜スルコト云フ結果ニナリハセヌカト思ヒマス、事甚ダ微ナリト雖モ、裁判所ノ爲スベキ事ヲ濫リニ檢事ニ移スト云フコトハ、本案大體ノ趣旨カラ見テ、必要ガ無イ、却テ今申サユウナ弊害ガアルト思ヒマス、此立法ノ理由ヲ承リタイ

○林政府委員 此法文ハ實際上ノ必要カラ設ケマシタノデ、却テ被告人ノ爲ニ便宜ナ事モ隨分多カラウト考ヘテ居

リマス、裁判所ガ檢閱ヲナス能ハズト云フノハ、通常ノ場合ニハナイノデアリマス、繫屬シテ居ル事件ハ裁判所ニ記録ガアルノデアリマス、サウ云フ場合ニハ無論裁判所ガ檢閱ガ出來ルノデアリマス、唯第一審判決ヲシマシテ、ソレニ對シテ控訴ノ申立ガアルト云フヤウナ場合、第一審裁判所ハ判決ヲシテシマヒマシテ、其事件カラ離レテ譯ニナリマスカラ、判決以後ニ於テ一審裁判所ガ檢閱スルコト云フコトハ、是ハドウモ筋道ガ合ハナイ、控訴申立ガアッタ後ナラバ、控訴裁判所ガ檢閱ヲシナケレバナラヌ關係ニナルト思フ、所ガ控訴ノ申立ガアッタケレドモ、控訴院ニ記録ヲ送ルノニハ色々手續ガアリマスカラ、相當ノ日ガ掛ルト云フコトハ、實際上已ムラ得ナイト思ヒマス、サウ云フ間ニ被告人ガ通信ヲシタイト云フコトモ隨分アル、デ、通信ガ急ガヌヤウナ場合ニハ、無論控訴裁判所ガ記録ガ到達シタ後ニ、其通信ガ差支ナイカト云フコトヲ見テ許スノデアリマスケレドモ、急ガヤウナ場合ニ於テハ、裁判所ニ記録ガナイカラ、事件ノ關係ハ分ラナイ、サウスルト云フト、記録ガ來ルマデ待テ居ラナケレバナラヌ、此場合ニ被告人ニ取テハ隨分迷惑ナ次デアリマスカラ、檢事ハ同一體デアリマシテ、事件ニ付テハ能ク知ルコトガ出來ルノデアリマスカラ、檢事ニ於テサウ云フ場合ニ便宜檢閱ヲシテ、サウシテ急ガモノハ通信ヲサセル、斯ウ云フコトニシナケレバナラヌト考ヘマス、第二項ハサウ云フヤウナ意味合カラ出來テ居ル必要ナル規定ト考ヘテ居リマス

○横山(勝)委員 サウ致シマスルト私ガ解釋致シタノハ、百十二條第二項ハ百十二條第一項ヲ承ケテ規定サレタモノト、斯ウ解釋シタノデアリマス、即チ授受ヲ禁セラレテアル場合ニ、裁判所ガ差支アルカラシテ、檢事ガ代テ檢閱ガ出來ルト云フヤウナ意味ダト思フ、デアリマスガ、只今政府委員ノ御話ニ依ルト、此授受ヲ禁ジタ場合ニアラズシテ、控訴シタヤウナ場合、中間ニ在ルヤウナ場合ニ、此規定ガ必要ナノデアアル、斯ウ云フ意味デアリマスガ

○林政府委員 サウデス

○横山(勝)委員 サウスルト授受ヲ禁ジテアル場合ニ、一寸裁判所ガ差支ルト云フ場合ニ、檢事ガヤルト云フヤウナコトガ出來ナイノデアリマスガ

○林政府委員 一寸御尋ノ趣意ガ能ク分リマゼヌガ、...

○横山(勝)委員 百十二條第一項ノ規定ニ基キマシテ、...

○林政府委員 裁判所ガ授受ヲ禁ジマスト云フト、モウ監獄ノ方デ書類ヲ受付ケヌコトニナリマスカラ、檢事ガソレヲ見ルト云フ機會ハアルマイカト思ヒマス

○横山(勝)委員 サウスルト又問題ガ起テ來ルノデアリマスガ、從來ノ裁判所ノ例ハ、豫メ書類ノ授受又ハ接見ヲ禁止シテアル、第一審ノ場合ニ何モ致スコトハ出來ナイノデアル、此取扱振リハ法律上ノ解釋デアルカドウカ知リマセヌガ、サウスルト本案ノ百十二條ノ規定ハ、此處ニアリマスル通り、一應其書類ヲ見テ、ソレヲ禁止スルナリ何ナリスルト云フ、個々ノ處分ト云フコトニナリマスガ、或ハ現行法ノ下ニ開イテ居ル例ノ通り、豫メ書類ノ授受ヲ禁ジテ置クト云フ場合ニ當ルノデアリマスガ、ソノ所ニ問題ガ起テ參リマス

○林政府委員 本案ノ趣意デハ豫メ一般ノモノヲ禁ズルト云フ意味デアリマセヌノデ、法文ニアル通り、書類其他ノモノヲ檢閱シテ、ソレカラ其内容ガ證據湮滅逃亡ヲ圖ル虞ガアルト云フヤウナ場合ニ禁ズル趣意デアルト考ヘマス

○横山(勝)委員 サウスルト實際ノ問題デアリマスカラ、一寸御尋シマスガ、サウスルト接見ヲ禁ジタ場合ニ、何デモカンデモ裁判所ガ見ナクテモ、書類ノ授受ヲ禁止スルト云フコトガ、一般的ニ徹底スルコトハ、本法ニ於テハ是ハドウデアリマセウカ、即チ半面カラ申シマセレバ、授受ヲ請求スル者ガアレバ一應檢閱シタル上デ、個々ノ文書ニ付テ授受ヲ禁止スルコトガ出來ル、斯ウ云フ意味ニ了解シテ宜シウゴザイマスガ

○林政府委員 其通リト考ヘマス

○横山(勝)委員 分リマシタ

○鶴澤委員長 第一百十三條

○横山(勝)委員 第一百十三條ニハ餘程議論ガアリマスルデ、屢々質問モ致シマシタシ、又他ノ委員カラモ御質問ガアツタヤウニ思ヒマスガ、條文ノ意味ニ於テハ質問ヲ致シマセヌ、唯問題ハ勾留ノ期間ヲ二箇月ニ限ッテ——絕對ニ二箇月ニシタイト云フコトガ人民側ノ要求デアリマスガ、併ナガラ特ニ繼續ノ必要アル場合ニ於テハ、決定ヲ以テ更新スルコトガ出來ル、是モ曩ニ御説明ノ通り、特殊ノ場合ニ於キマシテハ已ムラ得ナイコト、思ヒマスガ、其意味モ宜シウゴザイマスガ、併ナガラ此決定ヲ以テ更新スルト云フ場合ニ、ドウモ裁判所ガ自ラ決定ヲナスニ當ッテ、何人ノ意見モ斟酌セズシテ、自分ノ獨斷專行スルト云フコトハ、一般ノ此裁判ト云フモノ、原則ニ照シテ、甚ダ宜シクナイト思ヒマス、判決ニセヨ、決定ニセヨ、關係者ノ意見ヲ聽イテ、サウシテ裁判スルノガ是ガ原則デアル、ソレガ裁判ノ神聖ヲ保障スル所以デアルノデアリマス、所ガ此勾留ノ期間ヲ二箇月ニ限定シテ、特ニ繼續ノ必要アリト云フ場合ニ、裁判所ノミガ勝手ニヤルト云フコトハ、屢々質問モ出マシタ如ク、一年デモ二年デモ勾留スルト云フ結果ヲ生ズルソレカラ又此決定ヲ受ケテ、二

箇月以上勾留ヲセラレルト云フト、其不滿焉ヨリ大ナルモハナイノデアリマス、是マデハ五箇月、一年或ハ二年トナツタ場合ニ、屢々吾々ハ所長ノ所ニ行テ懇談ヲ致シマシテ、早ク豫審ノ終結スルヤウニ、裁判ノ進行スルヤウニト云フコトヲ御願ヒ致シタ、所長ノ言フニハ、御承知ノ通り、此被告入ハ勾留シテ何日ト云フ表ガ掲ゲテアリマシテ、常ニ注意ヲ致シテ居ルト云ハレマスケレドモ、果シテドウデアリマスカ、人民ノ方カラ見レバ、裁判所ノ内部ノ事ニ互ルカラ能ク分リマセヌ、殊ニ不安ノ間ニ半年一年勾留セラレルト云フ現狀デアル、ソレデ其不安モ裁判所ノ側ニ於テ繼續ノ必要アリト云フナラバ、是ハ已ムヲ得ヌコトデアリマスガ、然ラバソレヲ居ル辯護人トカ、サウ云フ者ニ一應意見ヲ述ベサセル機會ヲ與ヘテ然ルベキモノト私ハ考ヘル、オ前ハ二箇月勾留シタガ、モウ少シ延バス、斯ウ云フコトデアラナラバ、一應訴訟關係人ニ其意味ヲ了解サセルコトガ出來マスルナラバ或ハ訴訟關係人ハソレナラバ吾々ニハ斯ウ云フ證據ガアルカラ、ソレハ必要ガ無イ、サウ云フコトデ御延ベニナルナラバ、斯ウ云フ關係人ヲ出頭セシメルト云フヤウナ手段ヲ執ルカラ待テ吳レト云フ譯デ、訴訟ヲ進行セシメル上ニ於テ、非常ナ便宜ニナリ、又訴訟關係人ニ自分ノ意見ヲ述ベサセルト云フヤウナ場合モ必要デアラウト思フ、デアリマスカラシテ此法文ノ趣意ハ、政府委員ノ辯解ヲ諒トシテ吾々ハ贊成スルト致シマシテ、其決定ヲナス際ニハ、何等カノ方法ニ依テ被告入ガ訴訟關係人ヲシテ之ニ對スル意見ヲ述ベサセル、サウシテ其意見ヲ斟酌シタ上デ、決定ヲスルト云フ風ニシタ方ガ適當デアラウト考ヘマスルガ、ソレニ對スル御意見ヲ承リタイ

○林政府委員 勾留ヲ繼續スルノハ、證據湮滅、或ハ逃亡ノ虞ガマダアルト云フヤウナ場合ニ、已ムヲ得ズスルノデアリマスカラ、逃亡又ハ證據湮滅ト云フコトニ付テ、被告人ノ意見ヲ聽クト云フコトハアリマセヌカ、必要ガ無イト考ヘマス、ソレカラ此決定ヲスルニ付キマシテハ、決定書ニ勾留ヲ繼續スルノ理由ヲ十分ニ明示致サナクテハナラヌ、ソレニ依テ如何ナル理由デ勾留ヲ繼續スルト云フコトヲ、訴訟關係人ハ知ルコトガ出來マスシ、又即時抗告ヲスル、斯ウ云フコトニナラバ居リマス、決定ノ前ニ繼續ノ意見ヲ聽クト云フコトハ必要ハ無イト考ヘマス

○林政府委員 證據湮滅ノ場合ナドハ別デアリマスガ、逃亡ノ虞アルト云フヤウナ場合ニハ、例ヘテ見レバ勾留ヲセラル、場合ニハ此被告ハ逃走ノ虞アルモノト認定サレテ、勾留狀ヲ發セラレマシテモ、後日調査シテ結果、相當ノ身分ノ者デアアル、相當經歷ノアル者デアアル、財産モ持ッテ居ル、堂々タル邸宅モ構ヘテ居ル、ト云フヤウナ事ヲ、辯護人其他カラ申出タル場合ニハ、尙ホ此繼續ノ必要ガアリト決定スルノハ酷デアル、ドウモ勾留狀ヲ發スルト云フヤウナ場合ハ、其事伴並ニ事件ニ關係シタ全部ノ取調ヲ了スルト云フコトハ無イノデアリマスカラ、矢張訴訟關係人ヲシテ意見ヲ述ベシムル機會ヲ與ヘルト云フコトハ宜シイト思ヒマスガ、尙ホ斯ウ云フ事實問題ニ付テノ御意見ヲ承リタイ、ソレカラ尙ホ二箇月以上ノ拘禁ヲスル場合ニハ其決定シタ理由ヲ示スト云フコトデアリマスガ、其根據ヲ法文ニ依テ御示テ願ヒタイ

○林政府委員 此勾留ノ繼續ハ全ク已ムヲ得ヌ場合デアリマスカラ、初メ勾留狀ヲ發シマシテモ、後ニ其事情ガ無イナラバ、直ニ取消スベキコトガ百十四條ノ規定デアリマス、已ムナク勾留ヲ繼續スルト云フコトハ、此法案ノ行ハレタ後ニ於テハ斷ジテアルマイト思ヒマス、殊ニ若シ裁判所ニ於テ十分ニ事情ガ分ラナイト云フヤウナ場合ニハ、豫審ニ於テモ辯護人ガ附イテ居ルコトデアラカラ、必要ナル處分ノ請求ヲスル權利ガアルノデ、實際ニ於テモ是ダケノ規定ニテ居レバ、サウ云フヤウナ虞ハ萬アルベキコトデハナイト考ヘマス、第二ノ決定ニ理由ヲ附スル根據ハ、何處ニ在ルカト云フヤウナ御尋デアリマスガ、ソレハ四十九條ノ明文ガアリマシテ「裁判ニハ理由ヲ附スベシ、上訴ヲ許ササル決定又ハ命令ニハ理由ヲ附セザルコトヲ得」斯ウナテ居リマシテ、百十三條ノ決定ニハ上訴ヲ許スノデアリマスカラ、即チ理由ヲ附スルコトハ法律上必要ナコトニナリマス

○林政府委員 是ハドウモ實際上アルダラウト思ヒマスノデ、逃走ノ虞アルトキトカ、又ハ證據湮滅ノ虞アル時ハ、無論豫審判事——裁判所ノ方デ分リマスガ、檢事ノ方面デ能ク事情ガ分ルト云フノガ實際ノ事實デアリマス、ソレデ免ニ角一旦勾留ノ必要ヲ感ジテ、後ニ之ヲ取消ス場合ニハ、全ク證據湮滅ノ虞ノナイ、逃走ノ虞ノナイト云フヤウナ事柄ゴトハ必要コト考ヘマス

○林政府委員 是ハドウモ實際上アルダラウト思ヒマスノデ、逃走ノ虞アルトキトカ、又ハ證據湮滅ノ虞アル時ハ、無論豫審判事——裁判所ノ方デ分リマスガ、檢事ノ方面デ能ク事情ガ分ルト云フノガ實際ノ事實デアリマス、ソレデ免ニ角一旦勾留ノ必要ヲ感ジテ、後ニ之ヲ取消ス場合ニハ、全ク證據湮滅ノ虞ノナイ、逃走ノ虞ノナイト云フヤウナ事柄ゴトハ必要コト考ヘマス

○林政府委員 是ハドウモ實際上アルダラウト思ヒマスノデ、逃走ノ虞アルトキトカ、又ハ證據湮滅ノ虞アル時ハ、無論豫審判事——裁判所ノ方デ分リマスガ、檢事ノ方面デ能ク事情ガ分ルト云フノガ實際ノ事實デアリマス、ソレデ免ニ角一旦勾留ノ必要ヲ感ジテ、後ニ之ヲ取消ス場合ニハ、全ク證據湮滅ノ虞ノナイ、逃走ノ虞ノナイト云フヤウナ事柄ゴトハ必要コト考ヘマス

○林政府委員 是ハドウモ實際上アルダラウト思ヒマスノデ、逃走ノ虞アルトキトカ、又ハ證據湮滅ノ虞アル時ハ、無論豫審判事——裁判所ノ方デ分リマスガ、檢事ノ方面デ能ク事情ガ分ルト云フノガ實際ノ事實デアリマス、ソレデ免ニ角一旦勾留ノ必要ヲ感ジテ、後ニ之ヲ取消ス場合ニハ、全ク證據湮滅ノ虞ノナイ、逃走ノ虞ノナイト云フヤウナ事柄ゴトハ必要コト考ヘマス

スル場合ニハ被告人ノ意見ヲ參酌シナイ殊ニ檢事ノ意見モ參酌シナイ、是デハ如何ニモ權衡ヲ得ナイト思フ、百十三條ト百十四條トガ全ク權衡ヲ失スル、サウハ御考ニナリマセヌカ

○林政府委員 ドウモサウ考ヘテ居リマセヌ

○林政府委員 此保釋ヲ許ス理由ニ付テ承リタイ、屢々御說明ニナル通り、拘留ノ理由ガ消滅セル時分ニハ、當然裁判所ガ御許シニナルカラ、保釋ヲ申立セル必要ハナイ、サウスルト保釋ノ理由ト云フモノハ、或ハ尊屬親ガ急病デアルトカ、或ハ家事上已ムヲ得ザル事情ガアルトカ云フヤウナ特殊ノ理由ガアル場合ハ、御許シニナルモノト認メマスガ、要スルニ保釋ヲ許ス理由ト云フモノハ、本案ハドノ程度迄認メテ居ルノデアリマスガ、ソレヲ承リタイ

○林政府委員 夫ノ拘留セララル、場合ナドデモ、家ニハ妻ヨリ外ニ人ガ居ナイト云フ際ニハ、矢張妻ノ請求ノ權利ヲ認メテ置ク方ガ至當ノヤウニ思ハレマスガ、是ハ別ト固執スル趣意デハナイノデアリマスガ——ソレカラ直系尊屬ト、直系卑屬、是ハ家ニ在ル者ト、家ニ在ラザル者トヲ問ハナイ趣意デアリマス

○林政府委員 法文ハ其意味ニナラテ居リマス、家ヲ異ニシテモ、親デアルトカ、子デアルトカ云フヤウナ者ハ、此中ニ這入ルト思ヒマス

○鈴木委員 直系尊屬ト云フ方ハ、大概宜カラウト思ヒマスガ、直系尊屬トナリマスルト、親、祖父、曾祖父許リデナク、伯叔父ナドモ含ムコトニナリマセウガ、是ハ無制限ノ文句デ宜イト云フ御考デアリマス

○林政府委員 今伯叔父ガ這入ルカト云フ御尋ノヤウデアリマシタガ、ソレハ含マヌ積リデアリマス、民法ト同ジ意味デアリマス

○林政府委員 此保釋ヲ許ス理由ニ付テ承リタイ、屢々御說明ニナル通り、拘留ノ理由ガ消滅セル時分ニハ、當然裁判所ガ御許シニナルカラ、保釋ヲ申立セル必要ハナイ、サウスルト保釋ノ理由ト云フモノハ、或ハ尊屬親ガ急病デアルトカ、或ハ家事上已ムヲ得ザル事情ガアルトカ云フヤウナ特殊ノ理由ガアル場合ハ、御許シニナルモノト認メマスガ、要スルニ保釋ヲ許ス理由ト云フモノハ、本案ハドノ程度迄認メテ居ルノデアリマスガ、ソレヲ承リタイ

○林政府委員 夫ノ拘留セララル、場合ナドデモ、家ニハ妻ヨリ外ニ人ガ居ナイト云フ際ニハ、矢張妻ノ請求ノ權利ヲ認メテ置ク方ガ至當ノヤウニ思ハレマスガ、是ハ別ト固執スル趣意デハナイノデアリマスガ——ソレカラ直系尊屬ト、直系卑屬、是ハ家ニ在ル者ト、家ニ在ラザル者トヲ問ハナイ趣意デアリマス

○林政府委員 法文ハ其意味ニナラテ居リマス、家ヲ異ニシテモ、親デアルトカ、子デアルトカ云フヤウナ者ハ、此中ニ這入ルト思ヒマス

○鈴木委員 直系尊屬ト云フ方ハ、大概宜カラウト思ヒマスガ、直系尊屬トナリマスルト、親、祖父、曾祖父許リデナク、伯叔父ナドモ含ムコトニナリマセウガ、是ハ無制限ノ文句デ宜イト云フ御考デアリマス

○林政府委員 今伯叔父ガ這入ルカト云フ御尋ノヤウデアリマシタガ、ソレハ含マヌ積リデアリマス、民法ト同ジ意味デアリマス

○林政府委員 此保釋ヲ許ス理由ニ付テ承リタイ、屢々御說明ニナル通り、拘留ノ理由ガ消滅セル時分ニハ、當然裁判所ガ御許シニナルカラ、保釋ヲ申立セル必要ハナイ、サウスルト保釋ノ理由ト云フモノハ、或ハ尊屬親ガ急病デアルトカ、或ハ家事上已ムヲ得ザル事情ガアルトカ云フヤウナ特殊ノ理由ガアル場合ハ、御許シニナルモノト認メマスガ、要スルニ保釋ヲ許ス理由ト云フモノハ、本案ハドノ程度迄認メテ居ルノデアリマスガ、ソレヲ承リタイ

○林政府委員 夫ノ拘留セララル、場合ナドデモ、家ニハ妻ヨリ外ニ人ガ居ナイト云フ際ニハ、矢張妻ノ請求ノ權利ヲ認メテ置ク方ガ至當ノヤウニ思ハレマスガ、是ハ別ト固執スル趣意デハナイノデアリマスガ——ソレカラ直系尊屬ト、直系卑屬、是ハ家ニ在ル者ト、家ニ在ラザル者トヲ問ハナイ趣意デアリマス

○林政府委員 法文ハ其意味ニナラテ居リマス、家ヲ異ニシテモ、親デアルトカ、子デアルトカ云フヤウナ者ハ、此中ニ這入ルト思ヒマス

○鈴木委員 直系尊屬ト云フ方ハ、大概宜カラウト思ヒマスガ、直系尊屬トナリマスルト、親、祖父、曾祖父許リデナク、伯叔父ナドモ含ムコトニナリマセウガ、是ハ無制限ノ文句デ宜イト云フ御考デアリマス

○林政府委員 今伯叔父ガ這入ルカト云フ御尋ノヤウデアリマシタガ、ソレハ含マヌ積リデアリマス、民法ト同ジ意味デアリマス

○林政府委員 此保釋ヲ許ス理由ニ付テ承リタイ、屢々御說明ニナル通り、拘留ノ理由ガ消滅セル時分ニハ、當然裁判所ガ御許シニナルカラ、保釋ヲ申立セル必要ハナイ、サウスルト保釋ノ理由ト云フモノハ、或ハ尊屬親ガ急病デアルトカ、或ハ家事上已ムヲ得ザル事情ガアルトカ云フヤウナ特殊ノ理由ガアル場合ハ、御許シニナルモノト認メマスガ、要スルニ保釋ヲ許ス理由ト云フモノハ、本案ハドノ程度迄認メテ居ルノデアリマスガ、ソレヲ承リタイ

○林政府委員 夫ノ拘留セララル、場合ナドデモ、家ニハ妻ヨリ外ニ人ガ居ナイト云フ際ニハ、矢張妻ノ請求ノ權利ヲ認メテ置ク方ガ至當ノヤウニ思ハレマスガ、是ハ別ト固執スル趣意デハナイノデアリマスガ——ソレカラ直系尊屬ト、直系卑屬、是ハ家ニ在ル者ト、家ニ在ラザル者トヲ問ハナイ趣意デアリマス

○林政府委員 法文ハ其意味ニナラテ居リマス、家ヲ異ニシテモ、親デアルトカ、子デアルトカ云フヤウナ者ハ、此中ニ這入ルト思ヒマス

○鈴木委員 直系尊屬ト云フ方ハ、大概宜カラウト思ヒマスガ、直系尊屬トナリマスルト、親、祖父、曾祖父許リデナク、伯叔父ナドモ含ムコトニナリマセウガ、是ハ無制限ノ文句デ宜イト云フ御考デアリマス

○林政府委員 今伯叔父ガ這入ルカト云フ御尋ノヤウデアリマシタガ、ソレハ含マヌ積リデアリマス、民法ト同ジ意味デアリマス

○林政府委員 此保釋ヲ許ス理由ニ付テ承リタイ、屢々御說明ニナル通り、拘留ノ理由ガ消滅セル時分ニハ、當然裁判所ガ御許シニナルカラ、保釋ヲ申立セル必要ハナイ、サウスルト保釋ノ理由ト云フモノハ、或ハ尊屬親ガ急病デアルトカ、或ハ家事上已ムヲ得ザル事情ガアルトカ云フヤウナ特殊ノ理由ガアル場合ハ、御許シニナルモノト認メマスガ、要スルニ保釋ヲ許ス理由ト云フモノハ、本案ハドノ程度迄認メテ居ルノデアリマスガ、ソレヲ承リタイ

○林政府委員 夫ノ拘留セララル、場合ナドデモ、家ニハ妻ヨリ外ニ人ガ居ナイト云フ際ニハ、矢張妻ノ請求ノ權利ヲ認メテ置ク方ガ至當ノヤウニ思ハレマスガ、是ハ別ト固執スル趣意デハナイノデアリマスガ——ソレカラ直系尊屬ト、直系卑屬、是ハ家ニ在ル者ト、家ニ在ラザル者トヲ問ハナイ趣意デアリマス

○林政府委員 法文ハ其意味ニナラテ居リマス、家ヲ異ニシテモ、親デアルトカ、子デアルトカ云フヤウナ者ハ、此中ニ這入ルト思ヒマス

○鈴木委員 直系尊屬ト云フ方ハ、大概宜カラウト思ヒマスガ、直系尊屬トナリマスルト、親、祖父、曾祖父許リデナク、伯叔父ナドモ含ムコトニナリマセウガ、是ハ無制限ノ文句デ宜イト云フ御考デアリマス

程困難デアリマシテ、實際ノ事情ニ從フト云フヨリ御答ノシヤウハナト思ヒマスガ、要スルニ條件付テ拘束ヲ解イテモ差支ナイ場合ニハ、保釋ヲ許スコトニナルヲラウト思ヒマス

○横山(勝)委員 併ナガラ能ク伺ヒ置カナケレバナラヌコトハ人ヲ拘禁スル場合ハ法律ニ明文ガアリマシテ、定リタル住所ヲ有セザル場合、罪證ヲ湮滅スル虞アル場合、逃走ヲスル虞アル場合、斯ウ云フヤウナ意味ニ限ラレテ居ルノデアリマスカラ、此三ツノ條件ガ具備シテ居ル場合ニ於テハ、勾留ヲ御取消シナラナイヲラウト思フ、デアルカラ證據ヲ湮滅スル虞ガアル、又逃亡ノ虞ガアル場合ニ於テ保釋ヲ許サレルコトニ依ツテ、初テ被告人ノ保釋請求權ト云フモノ、價値ガ判ルノデアリマス、デアルカラ實際ノ事情ニ依ルト仰シヤルナラバ、先刻私ガ舉ゲタヤウナ例ハ、必ズ包含スルモノト解釋セネバナラヌ、詰リ法律上ノ原因ガ有ルカラ勾留サレテ居ルノデアルカラ、ソレガ無ケレバ釋放スルノガ當前デアアル、ソレヲ釋放セヌカラ、被告人カラ保釋ヲ願出ルト云フコトデアアルナラバ、勾留ノ原因ハ有ルケレドモ勾留ノ原因以外ニ、獨立シタル他ニ保釋ヲ許スベキ理由ト云フモノガナケレバナラヌ、サウスレバ其保釋ヲ許スベキ理由ト云フモノハ、ドノ程度カト云フコトハ、法律ノ明文決定メテ置クノガ當前デアアル、デアアルカラ百十五條十六條デ保釋ヲ許スト云フ場合ハ、凡ソドウ云フ場合デアアルカト云フコトハ、抽象的ニ言ヒ得ルヲラウト考ヘル

○林政府委員 今御尋ノ如ク勾留ノ原因ガ消滅スレバ、勾留ヲ取消スノデアリマスカラ、保釋ト云フ問題ハ勾留ノ原因ガ消滅シナイ場合ニ生ズルト云フコトハ、其通りデアアルト考ヘマス、即チ勾留ノ原因ハ全然消滅シナイケレドモ、實際ノ事情如何ニ依ツテ、條件付テ拘束ヲ解カナケレバ適當デナイト云フ場合ハ隨分アルト思ヒマス、之ヲ一々法律ニ舉ゲルト云フコトハ困難デアアルノ、ナラズ、法律ニ舉ゲレバ却テ漏レル場合ガ生ズルト思ヒマス、是ハ矢張法律ノ精神ヲ能ク酌シテ、ソレニ依テ適當ニ處理シナケレバナラヌト考ヘマス、先程御話ガアッタヤウナ例ハ、親ノ不幸ガアッタ、葬式ヲ營マナケレバナラヌト云フヤウナ場合ハ、假令證據湮滅ノ虞ガアルトモ、逃走ノ虞ガアルトモ云フ事ガアレテモ、若シ保釋請求ガアレバ、許スノハ當然デアアルト思ヒマス

○黒住委員 前ニ鈴木君ノ御問ニナツタ事ニ牽連シテ伺ヒタイ、私モ保釋請求權及辯護人選任權ハ、妻ノ除外シテ居ルト云フコトハ甚ダ不合理デアルト考ヘテ居リマス、質問シヤウト思ヒマシタガ、丁度私ノ不在ニ野副君カラ御問ガアッタヤウデスガ、ドウモ新聞ニ依リマシテモ政府委員ノ御説明ガ分ラヌ、是ハ鈴木君ノ言ハレル通り、寧ろ夫ノ被告人ニナツタ場合ニハ、全ク辯護人選定及保釋ノ請求ト云フコト

ハ、妻ガ致スノガ最も多イ、稀ニハ親ノ被告事件ニ付テ子ガ骨ヲ折リ、或ハ子ノ爲ニ親ガ骨ヲ折ルト云フコトモアリマスケレドモ、働盛リノ者ノ犯罪ニ付テハ、概ネ最モ苦痛ヲ受ケル者ガ妻デアアルノミナラズ、實際ニ於テ妻ガ奔走シテ居ル、特ニ「夫」ト云フ文字ニサレタノ「ハ」配偶者トシテ置ケバ皆ナ入ルノデアリマスガ、何カ今御答ニナツタ以外ニ理由ガアルノデゴザイマスカ、今少シ詳細ニ伺ヒタイ

○林政府委員 此點ハ前カラ度々御尋ヲ蒙ッテ居ルノデアリマスガ、今迄説明シテ以外ニハ全ク理由ハ無いノデアリマス、要スルニ被告人自身ハ出來ルノデアリマスカラ、妻ニ請求權ヲ認メヌカラト云ツテ、全ク保釋ノ請求ガ出來ヌト云フ關係ニハナリマセヌ、免ニ角立派ナ夫ガアルヤウナ場合、妻タル者ガ一人立テ彼スルト云フコトハ、ドウ云フモノデアラウカト云フガケノ考デアリマス、他ニ何モアリマセヌ

〔速記中止〕
○黒住委員 ソレニ關聯シテ、モウ一ツ伺ヒタイ、保釋ノ方ハ弊害ガ起ラヌト思ヒマスガ、三十九條ノ辯護人ノ請求ノ方、之ニ對シテ丁度保釋請求ト同ジヤウナ資格ノ人ニ許サレテ居リマスガ、時ニ被告人ノ意思ニ反スル場合ガアル、獨立シテ辯護人ヲ選任スルコトヲ得トアリマスカラ、色々ノ事情ニ於キマシテ、被告人ノ欲セザル辯護人ヲ、他ヨリ獨立シテ附ケラレルト云フコトガ間々アル、是ハ被告人ノ意思ニ反スルコトヲ得ズトカ云フヤウナ規定ノ必要ハアリマセヌカ
○林政府委員 辯護人ヲ選任シテ貰フテ、被告人ガ迷惑スルト云フヤウナコトハ實ハ頭ニ無カッタノデアリマス、辯護人ハ被告人ノ利益ノ爲ニ訴訟行爲ヲスルノデスカラ……
○鶴澤委員長 第一百十六條
○鈴木委員 此保證金額デアリマス、保證金額ハ從來ノ統計ニ依リマス、凡ソドウノ位ノ金額ニナツテ居リマスカ、分リマセヌカ
○林政府委員 ソレハ統計ガ取ッデアリマセヌ
○鈴木委員 一人ニ付テドウノ位ノ平均金額ニナツテ居リマスカ
○林政府委員 ソレハ何トモ申上ゲラレマセヌ、ドウモ統計ガ取ッテゴザリマセヌ
○鈴木委員 矢張保證金額ヲ定ムルト云フ必要ハ、ドウシテモ御在リナシマスカ

○林政府委員 法律ニ定ムル必要ハ無いト考ヘマス
○鈴木委員 從來ノ例ヲ見マス、少キハ二十圓三十圓、多キモ五百圓千圓ヲ超エルトハ、餘リ無いヤウデアリマスガ、此保證金額ノ爲ニ拘束サレテ居ルト云フコトハナカラウト思ヒマス、逃ゲル人ハ是ガアツテモ逃ゲル、逃ゲナイ人ハ斯ナ者ガナクテモ逃ゲナイト思ヒマス、唯タハ沿革上ニ基ツ

イタ事ヲラウト思ヒマスガ……
○林政府委員 其點ハ此案デハ攻究致シマシタ貴付ノ決定デアリマス、現行法デアハ貴付ニスル場合ニハ親族故舊トアリマシタ、兎ニ角一定ノ者ニ貴付スルコトニナツテ居リマシタ、ソレデサウ云フ者ガ無い場合ニハドウモ貴付ガ出來ナイカラ、形式上幾分カ保證金ヲ取ツテ、保釋ト云フ形式デアラコトガアル、此案デハ親族其他ノ者ト云フコトデ、貴付スベキ人ヲ限定シナイコトニシマシタ、ソレデスカラ十圓ヤ二十圓ノ保證金ヲ取ツテヤルト云フコトハ意味ヲ爲サヌ、サウ云フ場合ニハ貴付ヲスルコトニナルト思ヒマス

○横山(勝)委員 「保釋ヲ許ス場合ニ於テハ被告人ノ住居ヲ制限スルトコトヲ得」トアリマスガ、文字ハ極メテ明瞭デアリマスガ、是ハドウ云フ必要カラ斯ウ云フコトガ生ジタノデアリマスカ、其必要ノ生ジタ本義、並ニドノ程度マデ制限スルカト云フコトヲ聽キタイ
○林政府委員 保釋ヲ許シマシテ、監獄カラ出スト云フ場合ニ於テ、マダ事件ハ一方ニ於テ繫屬シテ居リマス、一方ニ於テハ證據湮滅ノ虞、逃走ノ虞ト云フモノノ事實ガマダアルノデアリマス、ソコデ一定ノ範圍内ニ住居ヲ制限スルト云フコトハ、是ハ實際上必要デアアルト思フ、唯タドレタケノ範圍ニ制限スルト云フコトハ、法律ニ決定メテアリマセヌノデ、各具體的事實ニ於テ必要ト認ムル範圍ニ之ヲ制限スルト云フコトニナルノデ、實際ノ運用ニ委セルト云フヨリ外、途ハ無いト考ヘテ居リマス

○横山(勝)委員 吾々ノ考ニ依リマスルト從來保釋ニ付テ住所ノ制限ヲ受ケタ者ハアッタガ、ソレガ爲ニ九州ニ行ツテ歸ラレナカッタカ、北海道ニ行ツテ歸ラレナカッタカ云フ者ハアリマセヌ、餘程保釋ヲ許サレタ場合ニハ被告人ガ注意シテ居リマス、此住所ノ問題デ困ッタノハ支那人デ、横濱ノ裁判所デ支那人ニ之ヲ許スト、保證金ヲ取ツテ居ルガ、保證金ヲ抛棄シテ逃ゲル例ニナツテ居ル、裁判所モソレヲ見込シテ、過大ニ保證金ヲ取ツテ居ルヤウニ見エマス、是等ハ支那人ナドニ對シテハ、或ハ彼奴ヲ放シテハイカヌト云フノデ、制限ヲ設クル必要ガアルカモ知レヌガ、兎ニ角裁判所ガ保釋ヲ許ス條件ノ存在シテ居ル場合ニ、東京ノ人ガ京都ニ行ツチャイカヌト云フヤウナ制限ヲ設テ、葬式ガアツテモ、婚禮ガアツテモ、重大ナ事ガ起ツテモ、ドウモ住所ヲ制限セラレテ、動クコトガ出來ヌト云フヤウナ規定ヲ設クルト云フコトハ、憲法ガ住所ノ自由ヲ保障シテ居ルト云フ根本法律ニ照ラシテ見テモ、海ニ非文明ナ、或ル意味ニ於テハ、舊思想ニ基ツク制限デアリカト思フノデアリマス、斯ウ云フ事ハ甚ダ宜シクナイ事デアアルト思フ、實際上ニ於テ住所ヲ制限スル必要ハ無い、ソレヨリモ私ハ茲ニ特別ノ考慮ヲ煩シタイ點ハ

保釋中ノ者ガ甚ダ不謹慎ナル言動ヲ爲ス場合ヲドウサレルカ、證據、湮滅ヲスルノデモ、逃亡スルノデモナイ、即チ勾留スベキ事情モ無イノデアルカラシテ、之ヲ保釋ヲ取消スニモ當ラナイガ、併ナガラ極メテ不謹慎ナ事ヲスル場合ガアル、資産有シテ居ル者ハ、出獄祝ト稱シテ保釋ノ場合ニ、親族故舊ヲ集メテ大ナル宴會ヲヤル、洵ニドウモ不謹慎ナ事デ、保釋ノ身ヲ以テ遊里其他ニ流連荒亡シテ居ル、斯ウ云フ事ハ制限スル必要ガアルト思フ、ソレカラ此政治運動、是ハ現ニ實例ガ屢、アリマスデ、名前デモ何デモ舉ゲロト仰シヤレバ舉ゲマスガ、ドウモ保釋デ出テ居ッテ、サウシテ威張ッテ公衆ノ前ニ出テ自ラ候補者ニナラヌデモ、他ノ候補者ヲ擁立シ、又反對運動ヲヤッテ居ルト云フコトハ殊ニ東京市内ニ多イ、現ニ今ヤッテ居ル者モアル、斯ウ云フ事ハ私ハ寧ろ制限シタ方ガ宜クハナイカト考ヘル、住所ヲ制限スル必要ガアルナラバ、サウ云フ事ニハ御考ガアリマセヌカドウカ、ソレヲ承リタイ、何デモ舊イ取締法規トカ何トカ云フモノニ、公衆ノ前ニ出チヤ行カヌトカ云フ訓示ノ規定ガアルト承テ居リマスガソレノ知ラナイ事デアリマスカラ...

○林政府委員 ソレハ少クトモ本條ニ關係ノ無イ事柄デアリマス
○黒住委員 保釋中ノ被告ノ住所制限ガ、法典調査會ノ案ニ無カッタデアリマスガ、特ニ此原案ニ出ルヤウニナリマシタ動機ハ何デアリマセウカ、何カ特段ナ理由ガアリマスカ
○林政府委員 是ハ實際ノ必要カラ設ケルコトニナリマシタ、此案ニ於キマシテ成ルダケ拘禁ヲシナイ、又拘禁ヲシテモ成ルダケ之ヲ解ク、斯ウ云フ趣意カラ來テ居リマスソレデ保釋ノ許可ヲスル決定ハ證據湮滅逃走ノ虞ガアルト云フ場合ニモ許サレルノデアリマスカラ、何處ヘ行ッテモ構ハヌト云フコトニナッテハ、逃走シマシタリ、或ハ證據湮滅ヲシテモ、之ヲ知ルコトガ出來ヌコトニナリマス、實際上困リマヌ實例ニ於テモ保釋ヲ許サレタ爲ニ何處ヘ行タカ分ラヌ、呼出シテモ出テ來ヌト云フコトガ随分アリマス、是ハ實際ノニ考ヘテ、斯ウ云フ事ガ必要デアラウト云フ意見ガ多數デ、特ニ設ケルコトニナリマシタ次第デアリマス

○林政府委員 其點ハ私ハ全ク違フ考ヲ持ッテ居リマスノデ、勾留ト云フコトハ證據湮滅、逃走ノ虞ノアル場合ハ、已ムヲ得ザル處置トシテ行フノデアリマシテ、其必要ノ限度ヲ超エテ、自由ヲ拘束スルト云フコトハ宜シクナイト思ヒマス、サウ云フ必要サヘ無ケレバ、假令被告人デアッタ所ガ、其以外ニ自由行動ヲ妨ゲラレルコトハナイ、犯罪ニ付テ責任ヲ負フ以外ニ拘束ヲ受ケル必要ハ無イ、ソレ故ニ保釋ヲ許シタ場合ニ於テ、證據湮滅逃走ト云フヤウナ事ニ關係ノナイ事柄デアラナラバ、ソレハ多少酒ヲ飲ンデ居ルトカ、其外ノ事ヲスルトカ云フヤウナコトガアリマシテモ、ソレハ勾留トカ保釋トカ云フコトニ關係ガ無イ、別個ノ事柄デアラ、サウ云フ事ヲ禁止スルト云フコトニスルト云フコトハ、如何デアラウカト思ヒマス、住居ノ制限ト云フコトハ、證據湮滅、逃走ノ虞ト云フコトガ全然無イノデナイ、保釋ノ場合ニソレガ有ルノデアリマス、ソレデ之ヲ住居ヲ制限シテ、サウ云フ事ノ無イヤウニ注意シナケレバナラヌコトハ當然デアリマス、外ノ點迄モ制限スルト云フコトハ、餘程考モノデアルト思ヒマス

○秋山政府委員 理由書ニモ其事ヲ書キマシタガ、保釋ヲ許ス方面カラ、成ベク許ス場合ヲ多クシタイト云フノデアリマス、保證金ヲ取ッテ許ス、マダソレデモ擔保ガ足リナイ、ソレデ住居デモ制限シタラ許セルガラウ、要スルニ許ス場合ヲ多カラシムル趣意ノ規定デアリマス
○黒住委員 住所制限ヲサレタ場合ニ已ムナキ事情ヲ旅行ヲシタトキニハ、特ニ許可ヲスルトカ、何トカ云フコトガ別ニ御認メナラヌノデアリマスカ
○林政府委員 別ニ此法文ニハサウ云フ規定ハシテアリマセヌガ、併シ住居制限ニ關シテ、狭イ所ニ制限スルニ限リマセヌカラ、實際上ハ差支ナカラウト思フ
○鶴澤委員長 第一百十七條——第一百十八條——第一百十九條

○横山(勝)委員 然ラバ政治運動等モ致シテモ差支ナイト云フ意味ニ諒解シマスガ、サウスルト斯ウ云フヤウナ場合ハドウシマスカ、政治上ノ意味ヲ以テ、過ッテ罪ヲ犯シテ勾留シタト云フ者ガ保釋デ出タ場合ニ、或ハ公開演説、公開ノ場所ニ於テ、自分ハ斯ウ云フ被告事件デ起訴サレテ居ルケレドモ斯ウ云フ事情ガアルト云フコトヲ堂々ト演説ヲシテ、自分ノ犯シタル罪ニ付テ、何カ意見ヲ發表スルト云フヤウナコトモ、毫モ制限スル必要ガ無イト云フノデアリマスカ

○黒住委員 隨分此本案ヲ見マスト餘程人權ヲ尊重サレ、人民側ニ重キヲ置カレタ規定ガ所々ニ見エルノデアリマス、ソレデ此十九條ニ依リマス、裁判所ハ檢事ノ意見ヲ聽キ、何時ニテモ決定ヲ以テ保釋ヲ取消スコトヲ得ルト云フコトガアリマスガ、茲ニ斯ウ云フ場合ニ限ッテ、取消スコト云フコトヲ限定サル、必要ガアリマセヌカ、無論御趣旨ハ證據湮滅等ノ虞ノアル場合、サウ云フ事ヲ書イテハ、何カ御差支ガアリマスカ
○林政府委員 是ハ別段書キマセヌデモ、保釋ニ關スル全體ノ規定ニ於テ、殊ニ本案ノ人權ヲ尊重スル趣意ノ上カラ申シマシテ明白デ、別段書ク必要ガ無カラウト考ヘテ居リマス
○鶴澤委員長 第一百二十條——第一百二十一條

○横山(勝)委員 百二十一條ハ分ッテ居リマスガ、是ハ從來ノ經驗上、詰リ上訴シタ場合ニ何處デスルト云フコトガ問題デアリマスカラ、ソレヲ保釋シタコトガ無イト思ヒマスガ、如何デアリマスカ
○林政府委員 全く其通りデアリマス
○鶴澤委員長 百二十二條——百二十三條
○横山(勝)委員 百二十三條モ亦屢、問題トモナリマシタシ、又昨日モ之ニ關聯シテ意見ノ一端ヲ述ベテ置キマシタガ、要スルニ百二十三條ハ住所ガ無イトカ、犯罪人ガ其場所ニ居ラヌ、色々ナ事情ヲ此處ニ舉ゲテ、其特殊ナ場合ニ於キマシテハ、檢事ガ勾引狀ヲ發シテ勾引スルコトガ出來ル、ソレカラ又他ノ檢事他ノ司法警察官ニ囑託スルコトモ出來ル、ソレカラ第二項ニ於テハ、司法警察官ハ自ら勾引狀ヲ發シ、又他ノ司法警察官ニ命令スルコトガ出來ルト云フコトデアリマシテ、要スルニ檢事ト司法警察官ニ對シテ重大ナル權利ヲ認メラレテ、裁判所若クハ判事ニ勾引ノ權利ヲ附與シタト云フコトハ、特色デアリマス、同時ニ、人民ノ人權ノ側カラ見マシレバ、非常ニ重大ノ事項デアルト考ヘテ居ル、ソレデ司法當局ノ御意見ノアルコトハ屢、承ッテ居リマスカラ、多クノ意見ヲ承ル必要アリマセヌガ、吾々ハ此檢事若クハ判事モ之ヲ承認スル譯ニハ行カヌ故ニ、吾々ハ此規定全部ヲ削ッテ毫モ差支ガナイ、斯ノ如キ場合ニハ、少シク檢事並ニ裁判所等ガ努力ヲ致シマスレバ、結果ニ於テ同一ノ事ヲ爲シ得ルコトガ出來ル、デアリマス、司法當局ハ人權ヲ尊重スルト云フ本案ノ立法ノ精神ニ照ラシ、又數日來屢、申上ゲマスル、天下到ル處デ人權蹂躪ノ聲ガ起ルノハ、檢事並ニ司法警察官ガ偉大ナル權力ヲ有シ、若クハ權力ヲ濫用スルコトニ依ッテ、起ルモノデアルト云フコトノ前例ニ鑑ミ、マシテモ、全然削除ニ同意セラレタイト思フノデアリマスガ、モウ意見トシテ陳述スル事ガ無イト致シマスレバソレ宜シイ、此事ヲ申シテ置キマス

○林政府委員 百二十三條ニ付テ、特ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、人權ヲ尊重スル趣意カラ、本案ハ幾多ノ規定ヲ設ケテ、人權蹂躪ノ聲ト云フモノヲ、本案實施ノ曉ニ於テハ全然跡ヲ絶チタイ、斯ウ云フコトヲ考慮シテ居リマス、ソレデ檢事及司法警察官ニ致シマシテモ、其職務ヲ執ル上ニ於テ實際上必要ナル事柄ト云フモノハ、或程度ニ法律ニ於テ限リ與ヘテ置カナケレバナラヌト考ヘマス、若シ與ヘテナイト云フ、殊ニ人權蹂躪問題ガ起ル、現行法ハ殊ニ不完全ノ點ガ多イノデアリマス、ソレデ人權蹂躪問題ト云フモノニ、屢ミ起ル機會ガ生シタモノト思ヒマス、矢張必要ナ事柄

司法當局ニ言ハスレバ極メテ制限セラル、場合ノミニ行ハレル規定アツテ、是ガ類似ノ規定ガ所々方々ニアル、集メテ見ハル檢事ト司法警察官ノ權利ハ非常ニ擴張セラレ、コトニナル、是ガ本案ノ特色デアルト同時ニ、今日法律ニ於テ斯ノ如キ規定ヲ設ケテ居ルト云フコトデアレバ、必ズ司法警察官ノ如キハ、喜ンデ人権蹂躪ノ非違ヲ敢テスルニ至ル弊風ヲ助長スルノ傾ガアルト私ハ考ヘル、斯ノ如キハ本案立法ノ根本義ニ照シテ私ハ不當デアルト考ヘル、司法當局ノ御考慮ヲ煩シタイ、此條文ノミデアリマセヌ、之ニ類スル全部ノ條文ニ付テ御考慮ヲ煩シタイ、斯ウ云フ考ヲ持テ居リマス、吾々ハ徒ニ政府當局ヲ非難攻撃スルモノデアハナイ、刑制界ノ司法部内デ、最モ尊敬スベキ大家ノ實驗談ヨリ鑑ミテスルノデアツテ、吾々ノ非難攻撃ハ必シモ根據ノ無イモノデアハナイト云フコトヲ申上ゲテ、而シテ更ニ一層進ンデ司法當局ノ御考慮ヲ煩スノデアリマス

○林政府委員 只今ノ御演說ニ付テ、一言御話致シテ置キタイト思ヒマスガ、此法案ハ之ヲ通讀シテ明カデアリ、又屢、私ガ申上ゲテ居リマスル通り、人権尊重ト云フコトニ付テハ、非常ニ重キヲ置イテ立案セラレタノデアリマシテ、檢事、司法警察官ノ權限ヲ擴張シテ、人権ヲ蔑視スルト云フコトハ毛頭ナイ、唯ダ原則トシテ或場合ニ之ニ對シテ實際ノ必要ト多少ノ例外ヲ設ケルト云フコトハ、ドノ法律デモサウデアルガ、此手續法ナド殊ニサウデアルト考ヘマス、ソコデ先程モ申ス通り、舊イ時代ニ於テハ多少檢事司法警察官ノ行動ガ、穩當デナイト云フコトハ絶無デアハナイト考ヘマスガ、併シ今横田君ノ說ト云フモノハ何時頃ノ事ヲ言ハレタモノカ近來サウ云フ非難ガ常ニアルト云フコトハ、司法當局ハ信ジナイ、アルベカラザル事ト思ヒマスガ、併ナガラサウ云フ事ガアレバ一大事デアリマスカラ、此法案ニ於テハ總テ公明正大ニ、法律ノ規定ニ則ッテヤラセル法律ノ規定デナケレバ、絕對イカヌ、斯ウ云フ趣意ヲ明ニスルト云フコトヲ原則ト致シテ、立法シ來ッテデアアル、ソコデ檢事司法警察官ニモ或ル限定サレタ場合ニ於テ、一定ノカヲ法律ニ依ッテ與ヘルト云フコトガ、却ッテ人権蹂躪ト云フコトヲ避ケル途デアル、斯ウ云フ考カラ出來テ居リマス、ソレデアリマスカラ、其等ノ點ニ付テ誤解ナカラントコトヲ望ミマス、サウ云フ點ニ付テ誤解ガアツテ判斷サレテハ非常ニ迷惑シマス、特ニ此點ヲ明ニシテ置キマス

○横山(勝)委員 只今ノ御答辯ノ意味ハ諒解シテ居リマスガ、議論ニハ賛成シナイ、私ノ申シタ事ハ百二十四條ニモ關聯シテ居リマス

○宮古委員 只今ノ件デ一寸申上ゲマス、百二十三條ノ第二項ノ司法警察官ハ前項ノ各號ノ場合ニ於テ勾引狀ヲ發シ又ハ之ヲ他ノ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコト

ヲ得「トナ」テ居リマスガ、此前項各號ノ場合ハ第一號カラ第六號マデノ場合デアリマスガ、第一項ノ「左ノ場合ニ於テ急速ヲ要シ判事ノ勾引狀ヲ求ムルコト能ハサルトキ」ト云フノモ、矢張り之ニ拘ハルノデスカ、或ハ之ニ拘ラズ、警察官ハ一カラ六マデノ間ノ事柄ガアリマスレバ直ニ勾引狀ヲ發フルコトガ出來ルト云フ事ニナシテ居ルノデアアルト云フコトヲ一ツト、ソレカラモウ一ツハ此條文ハ今横山君カラモ逆ベラレタ通り、大分法曹界ノ問題トナシテ、之ヲ除クト云フト差支ガアルト云フ政府委員ノ御意見デアアルケレドモ、現行法ハ不完全デアアルカラ、此様ニ改正スルコトガ必要デアアル、之ヲ除キマシテ不都合ナ場合ハ、ドウ云フ場合ニ於キマシテハ、困ルコトニ相成ルノデアリマスカ、此點ヲ御伺致シマス

○林政府委員 前段ノ御尋ニ付テハ、第一項ノ全部ガ適用ニナルノデアリマシテ、無論急速ヲ要シテ勾引ヲ求メルコトガ出來ナイ場合デアアル、是ハモウ疑ナイ事デアリマス、ソレカラ後段ノ御尋デアリマスガ、斯ウ云フ場合ニ斯ウ云フ條件ノアルトキニ於テ、臨機ノ處置ヲ認メマセヌト云フト、犯罪人ヲ逸シテ、サウシテ社會ノ良民ガ非常ニ不安ニ陥ルト云フコトガアルダラウト思フ、何レモ列舉シタル場合ト云フノハ、サウ云フ特殊ノ必要ノアル場合デアリマス、通常ノ場合デアリナイデアリマス、此規定ガアル爲ニ非常ニ不都合ノ起ルヤウナコトハ、ドウモ此規定トハ離レテ居ルコトデアラウト私ハ考ヘマス

○宮古委員 判事ノ勾引狀ヲ求ムルト云フコトガ至急ニ出來ナイ場合ガ、ソナニ澤山數ガアルモノデセウカ、大抵ノ場合ハ矢張り何カ事ガアレバ、直様判事ニ電話ナリ何ナリ發シテ、早速勾引狀ヲ求メテ、其處分ヲスルヤウナコトニ出來ナイモノデセウカ

○林政府委員 無論サウ云フ事ノ出來ル場合ガ多イノデアリマシテ、出來ル場合ニハ普通ノ手續ニ依ルノハ勿論デアリマスガ、實際上サウ出來ヌコトガアリマス、サウ云フヤウナ場合ニ百二十三條ガ適用ニナル、百二十三條ノ適用ハ餘程是ハ限定サレテ居ル、實際上ニ於テハ頻繁ニナシテハナラヌ

○鶴澤委員長 第二百二十四條、第二百二十五條、第二百二十六條、第二百二十七條、第二百二十八條——此百二十七條百二十八條デ、百二十七條ハ「即時訊問シ」ト書イテアリ、ソレカラ前「速ニ」ト云フノガアリマシタガ、是ハドウ違フノデスカ、「速ニ訊問シ」ト云フノ「即時訊問シ」ト云フノト……

○林政府委員 格別エライ違ハアルトハ考ヘマセヌガ、矢張り即時ノ方ガ多少程度ガ違フノデアアルト考ヘマス

○鶴澤委員長 八十五條ニ召喚ニ因テ「速ニ」之ヲ訊問ス

ヘシトアルガ、サウスルト即時ノ方ガ少シ早イ——ソレカラ其次ニ百二十九條、百三十條、百三十一條、百三十二條、アリマセヌカ——第十章被告人訊問、百三十三條、百三十四條、百三十五條、百三十六條、百三十七條、百三十八條、百三十九條

○宮古委員 第三十九條デ但書ガ「司法警察官訊問ヲ爲ス場合ニ於テハ司法警察官吏ヲシテ立會ハシムヘシ詰リ巡查ヲ立會ハシメルト云フコトデアリマセウカ、ドウモ巡查ガ立會シテモ、司法警察官ノ取調ニ對シテ、監視ノ役ニモ立ツマイト思ヒマスガ、何カ外ノ人ヲ立會ハセルト云フヤウナ工風ハ無いノデアリマセウカ

○林政府委員 判事檢事ガ訊問スルニハ、裁判所書記ガ立會フト云フコトニナシテ居リマスガ、ソレトノ鈞合カラ申シマシテモ、司法警察官ガ訊問スルコトニ司法警察吏ガ立會フト云フコトハ、差支ナカラウト思ヒマス、要スルニ訊問者被訊問者トノ以外ノ第三者ガソレニ介在スレバ、ソレデ保證ニナルダラウト考ヘマス

○宮古委員 司法警察官ノ居ル處即チ警察署ト云フヤウナ處ニハ、書記見タイナ者ガ無いカラ、已ムヲ得ズ司法警察吏ヲ立會ハセルト云フ趣意アゴザイマスカ

○林政府委員 此立會者ガ司法警察吏デナケレバナラヌト云フ理由ハ無いノデアアル、併ナガラ適當ノ者ガ只今ノ所デ無いヤウデアリマス、司法警察吏デ差支ナイト斯ウ云フダケノ考デアリマス

○鈴木委員 此百三十九條ニ基キマシテ司法警察官ガ聽取書ヲ作ツタ場合ハ、後段第三百四十五條ノ所謂法令ニ依ッテ作成シタル訊問調書ニ當タル譯デスカ

○林政府委員 本條ニ依ッテ訊問シタ場合ハ、矢張り訊問調書ニ當リマスカ

○鈴木委員 サウスルト此百三十九條ハ、矢張り現行犯ノ場合ノミヲ云フノデアリマスカ

○林政府委員 主トシテ現行犯ノ場合ニ關係スルコトデアリマス、一般ノ場合ニハ當嵌リマセヌ

○鈴木委員 サウシマスルト云フト、此點ハ禱君カラモ質問ガアツヤウニ承テ居リマシタガ、司法警察官ノ作成シタル聽取書ハ、矢張り此場合ニハ證據ニナル譯デスカ

○林政府委員 百三十九條ハ訊問ノ場合デアリマシテ普通ノ搜查ノ場合ノ聽取ハ之ニハ違入ッテ居リマセヌ、是ハ訊問權ヲ法律ガ與ヘタ場合ノ規定デアリマス、一般ノ場合ハ之ニ當リマス訊問權ガ無いノデアリマス

○宮古委員 是等ノ事實ニ付テ申上ゲテ政府ノ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、司法警察官ガ訊問ヲナス場合ニ、警察吏ヲ立會セルト云フ今日マデノヤリ方トシテハ、實際ハ却

テ惡イト云フコトガアリ、却テ警察吏ヲ立會ハセヌ方ガ宜イト云フ實例ガ頗ル多イ、何故カト云フト其立會フ巡查ガ人權蹂躪ヲヤル、警察吏ガ訊問スルトキ、側ニ附テ居ル巡查ガ言ッテシマヘト云フヤウナ事ヲ言フ、司法警察官ノ居ルトキハ憚ルカ知ラヌガ、居ラヌトキハ、毆タリ蹴タリ色々ナ事ヲスル、司法警察吏ヲ立會セル爲ニ、人權蹂躪ガ行レルト云フ實例ガ多イデアリマス、是ハ御承知ノ無イコトカ知リマセヌガ、其様ナ事モ行ハレテ居リマスカラ、先刻何カ之ニ代ルモノガアルナラバ、ソレニ立會ハシタ方ガ宜イデハナイカト申シタノデ、サウ云フ點ニ付テハ、訓令デモ出シ、訓誡ヲ加ヘ間違ノナイヤウニシテ戴タイト思ヒマス

○林政府委員 今御話ノヤウニ、若シ訊問スル際ニ、言ッテシマヘト云フヤウナ事ガアリト致シマスレバ、是ハ本案ノ趣意ニ明白ニ反シテ居リマス、事實實施ノ曉ニハ、其様ナ事ハナイト思ヒマス、サウ云フ亂暴ナ事ヲシテ、毆タリ蹴タリト云フヤウナ事ハアルマイトハ存ジマスガ、若シアリトスレバ、刑法上ノ犯罪デアリマスカラ、サウ云フ事ノ無イヤウニスベキハ勿論デアリマス、事業實施ノ際ニハ、此法案ニ關シテノミナラズ、他ノ點ニ關シテモ、必要ナルコトハ訓令其他ノ方法デ本案ノ精神ヲ發揮スル積リデアリマスカラ、其點ノ御注意ハ謹ンデ拜聽致シマス

○黒住委員 現行法ニハ國語ニ通ゼザル被告ノ通辭ニ關スル規定ガアリマスガ、本案ニハ其規定ガ無イヤウデスガ、何所カニアリマスカ

○林政府委員 其點ハ第十五章ニ通譯ト云フ章ヲ別ニ置キマシテ、之ヲ適用致シマス

○鶴澤委員長 ソレデハ今日ハ是デ閉會致シマシテ、次會ハ二十五日午前十時ト定メテ置キマシテ、若シ其前ニ開クヤウナコトガアリマスレバ、公報ヲ以テ御通知致シマス

午後零時六分散會

大正十一年二月二十五日印刷

大正十一年二月二十六日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局